

令和7年度組合等課題対応新事業展開支援事業 実施結果②

活用組合（概要）

組合名：橿原市上下水道協同組合

所在地：奈良県橿原市

組合員：16名

活動内容



橿原市内で水道事業を営む16の小規模事業者で構成。組合事業としては主に水道部品の共同購買事業を実施し、組合員である水道工事業者は、給排水管の設置・修繕、漏水の発見・修理及び水道本管や下水道管の新設・更新工事等を実施することにより、橿原市内の各家庭へ安全・安心な水を提供しています。

中長期的課題

【災害対応力の向上】

- ①連携事業継続力強化計画の「形骸化」防止
- ②関係機関との連携強化
- ③生活インフラを守る事業者としての意識向上

【解決策】

関係機関と連携した防災訓練を実施し、計画の実行性を検証・改善するとともに、被災地域で活動する組合へのヒアリングを通じて、被災現場で発生する課題や有効な対応策に関する情報収集を実施。

取組結果

【成果】

①防災訓練実施による課題の発見

停電発生時に実施するマンホールポンプへの電力供給訓練において、ポンプ試運転時に過電圧・過電流による制御盤のトラブルが発生したため、今後の対応方法について関係機関と協議し、次回訓練時には正しく作動するよう改善を図ることとなった。

②被災地域水道組合の先進事例の収集

現地でのヒアリング調査で被災地域組合と当組合では災害にリスクへの認識に差があると理解できました。また、被災した場合において、事業が停止した際の給水活動や水道管の漏水修理対応についてどのような課題が生じるか意見を収集することができたこと、連携事業継続力強化計画策定後の具体的な行動計画策定の参考材料が得られたことで、昨年の計画策定時に作ったマニュアル内容を追記・改善すべき点が発見できました。

今後は、マニュアルのアップデートを実施するとともに、「電気・ガス・土木」といった他インフラに関わる異業種との連携強化を推進していきます。

